

平成 29 年 2 月 27 日

「三菱 UFJ キャピタル 6 号ファンド」ならびに 「三菱 UFJ ライフサイエンス 1 号ファンド」の設立について

三菱 UFJ キャピタル株式会社（以下 三菱 UFJ キャピタル）は、株式会社三菱東京 UFJ 銀行（以下 三菱東京 UFJ 銀行）と、今般、総額 100 億円の基幹ファンド「三菱 UFJ キャピタル 6 号ファンド」（以下 MUC6 号）に加え、当社初となるライフサイエンス分野に特化した総額 100 億円の「三菱 UFJ ライフサイエンス 1 号ファンド」（以下 MULS1 号）を設立いたしました。

三菱 UFJ キャピタルと三菱東京 UFJ 銀行は、これまでの 5 号に亘る基幹ファンドを通じて、幅広い業種における成長が期待できる企業に資金を供給するとともに、三菱 UFJ フィナンシャルグループ（以下 MUFG）の総合金融力をもって成長企業の支援に取り組んできました。

また、平成 21 年にライフサイエンス室を発足し、国内外の優良ベンチャー企業に資金提供、経営支援を行ってきました。現在、政府の日本再興戦略でも注力領域として挙げられるライフサイエンス分野においては、アンメット・メディカル・ニーズ（未だに有効な治療法が見つからない疾患に対する医療ニーズ）への対応のため、大手製薬会社もオープン・イノベーションにシフトしています。さらに、グローバルベースでも高い水準にある日本の大学における研究開発を創薬に一層活かすための制度変更といった政府の後押しも相次いでおり、ベンチャー企業やアカデミアの役割はますます大きくなっています。こうしたなか、今般設立した MULS1 号を通じて、積極的に業界の資金ニーズに応え、MUFG グループとして業界の発展、医療水準の向上に寄与したいと考えています。

基幹ファンドにおいては、従来同様幅広い業界における成長企業を支援することに加え、テクノロジー分野のベンチャー企業への支援をさらに強化していきます。日本が誇る産業コア技術をベースとした次世代を担う産業の発展が期待されるなか、MUFG が有する産官学のネットワークを活用し、これら企業および業界の成長に貢献していきます。

三菱 UFJ キャピタルは、これからもグループ総力を結集して未来志向でクオリティの高いプロフェッショナルなサポートの提供を通じて、新産業に挑戦する企業の成長促進ならびに日本経済の活性化に努めてまいります。

【三菱UFJキャピタル6号ファンドの概要】

ファンド名称	三菱UFJキャピタル6号投資事業有限責任組合
出資約束金額	100億円
ファンド出資者	三菱東京UFJ銀行、三菱UFJキャピタル
運営会社	三菱UFJキャピタル
ファンド期間	10年
投資対象	① 持続的成長力の期待できる国内外ミドル・レイター企業 ② 高成長が見込まれる国内外シード・アーリー企業 ③ 投資組合や信託受益権等 (ただし、ライフサイエンス分野に属する投資は除く)

【三菱UFJライフサイエンス1号ファンドの概要】

ファンド名称	三菱UFJライフサイエンス1号投資事業有限責任組合
出資約束金額	100億円
ファンド出資者	三菱東京UFJ銀行、三菱UFJキャピタル
運営会社	三菱UFJキャピタル
ファンド期間	12年
投資対象	① 持続的成長力の期待できる国内外ミドル・レイター企業 ② 高成長が見込まれる国内外シード・アーリー企業 ③ 投資組合や信託受益権等 (ライフサイエンス分野に属する投資のみを対象とする)

【お問い合わせ先】

企画部 西浦

投資企画部 辻井

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目7番17号

TEL:03-5205-8581